

5 豪雨対策の着実な推進に向けて

東京都豪雨対策基本方針に基づき、重点エリアを定めて取組を推進していますが、豪雨対策は一朝一夕に進むものではなく、河川や下水道などの施設整備には非常に長い時間を要するため、これまで以上に重点的な取組を実施するなど、メリハリのある対策が求められています。

また、平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）や令和元年台風第 19 号等、近年発生している豪雨災害を踏まえるとともに、ICT や AI 等の最先端技術の導入を検討しつつ、河川や下水道の施設整備や改良等のハード対策、雨水の流出を抑制する流域対策、都民への情報発信や提供等のソフト対策の取組を充実させ、都民と目標を共有しながら豪雨対策を着実に推進・加速していくことが急務です。